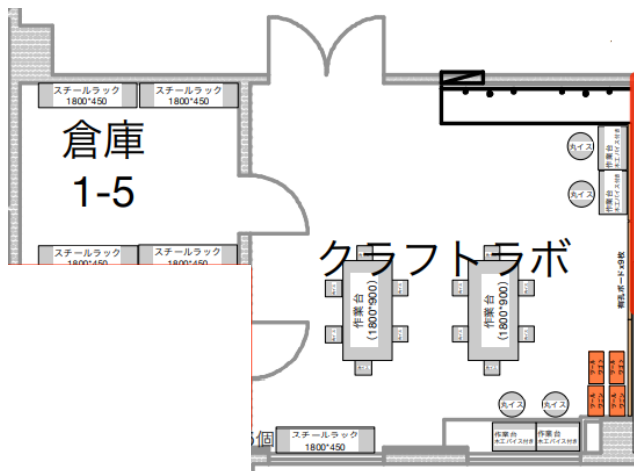


クラフトラボ 利用手引き

定員 16名、面積 46㎡

✂ クラフトラボのご利用について ⚙



このたびは、パルテノン多摩 クラフトラボをご利用いただきまして、ありがとうございます。

クラフトラボは、多様な工具や家では設置の難しい工作器具、ロックミシンなどを常設している施設です。床面がタイル張りになっており、大きな工具や素材の洗浄、染め物などに利用できる水場に4口の水道を備えています。

🔪 こんな使い方ができます 🧑‍🎨

- ・発表会や舞台、イベントで使用する衣装をみんなで作ることができます。
- ・DIYワークショップ、工作講習会など、参加者を募集するイベントを開催することができます。
- ・広い水場を自由に使い、水彩画教室や書道教室、サークルなどのご利用ができます。

【1】クラフトラボ内附帯設備

利用内容		飲み物	食事	常設備品	備考
占有利用時	DIY、工作、裁縫、手芸、水彩等、染め物やワークショップ、小道具や衣装の製作	○	×	・作業台 ・丸椅子、角椅子 ・ツールワゴン ・電動丸鋸 ・電動糸鋸 ・ロックミシン ・職業ミシン ・衣装用スチームアイロン	・電動工具を利用される場合、1時間の講習を受けていただきます。安全管理のご協力をお願いいたします
	大・小ホール利用時の小道具や衣装のメンテナンス	○	×		
一般開放時	工作、裁縫、手芸、水彩等	○	×	・一般工具一式 ・水道	・電動工具はご利用できません

【2】ご利用方法

- ・電動工具をご利用の際、事前に1時間の講習を受講していただきます。ご予約時に講習日程をご確認の上、ご都合の良いお日にちに受講予約してください。
- ・ご来館の際、施設利用許可書をお持ちの上、2F総合案内までお越しください。利用開始5分前から入室の手続きを受け付けます。施設・倉庫の鍵、消毒キットをお渡しいたします。
- ・お使いになった工具や机、作業台、ワゴン等の附帯設備品は、ご利用後の清掃、除菌、原状復帰をお願いいたします。
- ・ゴミはお持ち帰りいただきますよう、ご協力をお願いいたします。お持ち帰りが難しいような場合は、有料にてゴミ処分代行サービスを行っておりますので、総合案内でゴミ袋をご購入いただき、所定の場所へお持ちください。

【3】利用上のご注意

- ・ご自身の備品のお持ち込みは可能ですが、施設備品と混在しないよう、お気を付けてください。また、自己管理、安全管理の徹底をお願いいたします。
- ・備え付けの水道を利用しての作業ができる施設ですが、ご利用後は床面などが濡れたままにならないよう、モップで簡易清掃をしてください。
- ・工具や針などの備品を設置している施設ですので、安全管理と衛生管理の徹底をお願いいたします。
- ・みなさんでご利用いただく附帯備品になりますので、故障や紛失の無いよう、お使いください。
また、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご利用になりました附帯備品の消毒にご協力をお願いいたします。
- ・ご利用中のけがにつきましては、ご予約時にいただいております誓約書にごございます通り、自己責任とさせていただきますので、予めご了承ください。
- ・制作物の管理は行っておりませんので、お持ち帰り下さい。また、接着や乾燥など目的に日をまたいだ仮置きをご希望の場合は、連続利用をお申し込みいただくこととなりますので、総合案内までご相談ください。

【4】重要：プレオープン期間（2022年4月～6月末まで）の制限事項について

- ・クラフトラボは、7月1日に貸館開始をする施設です。現在は準備中となっております。そのため、環境や備品が十分整っておりません。
- ・ロックミシン、家庭ミシンについては、今後は糸や針など周辺環境を整える予定ですが、現段階では十分に揃っておりません（ロックミシン糸12種程度）。
- ・安全講習が必要となる大型工具（電動丸鋸、電動糸鋸）は7月1日まではご利用いただけません。
- ・下記の付帯設備をご確認の上、ご不明点がございましたら事前にお問合せください。

【5】クラフトラボ内附帯設備

備品名	員数	格納場所	備品名	員数	格納場所
作業台	6台	クラフトラボ内	ロックミシン	2台	クラフトラボ内
角椅子	12脚	クラフトラボ内	家庭ミシン	2台	クラフトラボ内
丸椅子	4脚	クラフトラボ内	ミシン糸	一式	壁面
ツールワゴン	4台	クラフトラボ内	アイロン	2台	クラフトラボ内
電動丸鋸	1台	倉庫(現在不可)	アイロン台	2台	クラフトラボ内
電動糸鋸	1台	倉庫(現在不可)	工具消耗品	一式	クラフトラボ内
一般工具一式	4セット	クラフトラボ内	ほうき	一式	クラフトラボ内
LEDライト	2台	クラフトラボ内	モップクリーナー	一式	クラフトラボ内

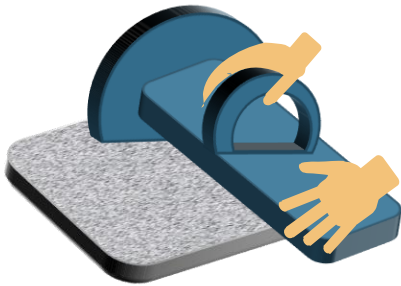
ゴミ集積所マップ



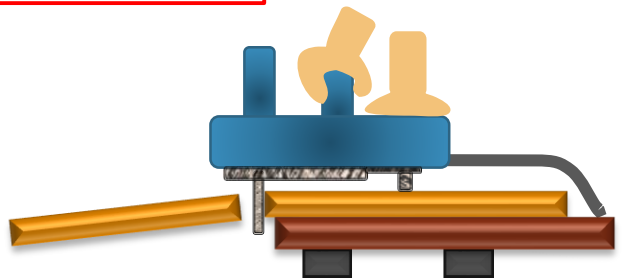
電動丸鋸(丸鋸)使用時の注意点

- ① コンセントは抜いた状態で丸鋸の刃の調節をしましょう。この時、材料の厚みプラス3mm程度を目安として、刃をを出しすぎないようにしましょう。
- ② 丸鋸の台座が曲がっていないか確認しましょう。
- ③ コードの配置が邪魔になっていないか確認しましょう。
- ④ 適正な高さで作業しましょう。ベニア合板(11mm厚以上)の上でカットすると、切断時に木材が刃を挟みづらくなるので安定します。
- ⑤ 丸鋸をしっかり両手で持ち、まっすぐ切りましょう。
- ⑥ 丸鋸の真後ろに立たないようにしましょう。真後ろに立たず、体をよけて丸鋸を扱うようにしましょう。
- ⑦ 曲がって切るとキックバックする場合があります。変な方向に力をいれると曲がる場合があるので、進行方向にまっすぐ丸鋸を押ししていく事を意識する。
- ⑧ 板の反り方によっては、動きが固くなる場合もあるので、その時は無理に切ろうとせず、一旦停止し、楔(くさび)などで広げ、丸鋸がスムーズに進むよう、落ち着いて作業しましょう。

両手でしっかり持つ



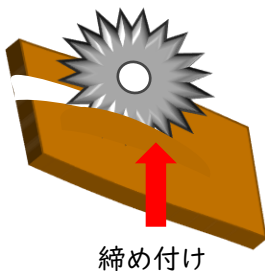
適正な高さで両手で
しっかり持ち、まっすぐ
切りましょう



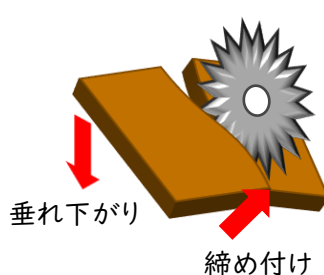
★キックバック現象に注意!!★

キックバック現象とは、鋸の刃の部分が木材に挟まってしまい、その結果刃の回転に負担がかかり、丸鋸自体が暴れまわった反動で木材が跳ね返ってしまう現象のことです。
この時、反射的に手を離したり、木材を押さえようと、丸鋸が体に当たってしまったたり、指を巻き込んでしまったり、弾き飛ばされた木材が顔に当たってしまうことがあります。

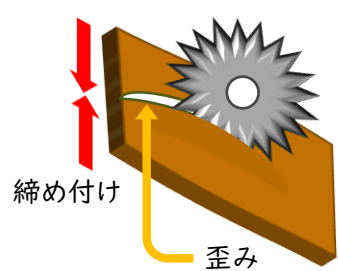
ノコ刃ひねり



板の垂れ下がり



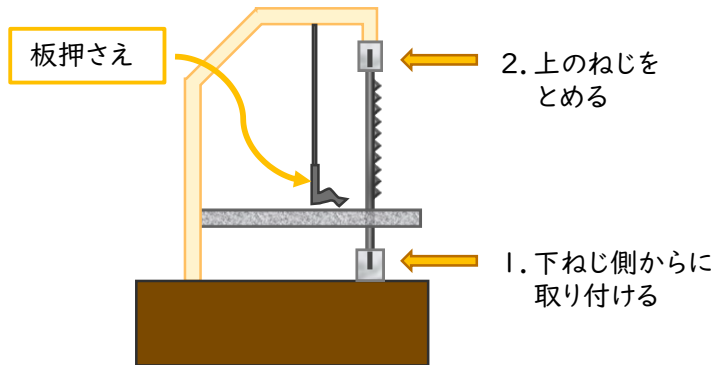
板の歪み



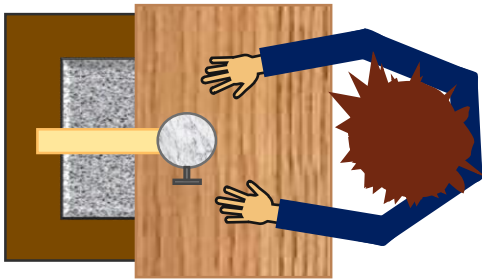
- ・キックバック現象が起きたら慌てない! 丸鋸をしっかり持って踏ん張り、一旦停止しましょう。
- ・マニュアルをきちんと読んで理解し、慌てず、使い方を守ればとても便利な道具です。

電動糸鋸(いとのこ)使用時の注意点

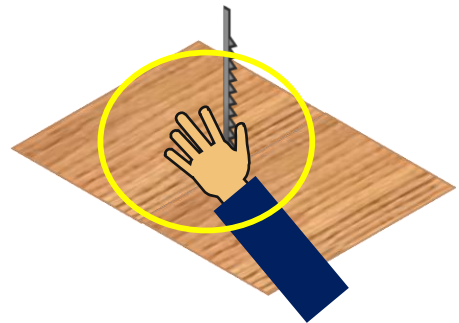
- ① 電源の位置を確認し、設置位置を確保しましょう
- ② 電源を抜いている状態で刃を取り付けます。下のねじから、下向きの刃を取り付け、そして上のねじをとめます。
- ③ 切るときの姿勢や手の位置など使い方を確認します。電動糸鋸の正面に立ち、しっかり上から板を押さええます。
- ④ 刃の前に手を出さない、電動糸鋸に顔を近づけすぎないなど、安全面での確認をしましょう。
- ⑤ 板を乗せて、『板押さえ』で固定します。ゆっくり押し切ります。
- ⑥ 刃が折れたときは、刃を取り外し、交換しましょう。
- ⑦ くり抜きたい時は、板にキリで穴をあけ、そこに刃を通し、取り付けます。
- ⑧ 掃除の際は、必ずコンセントを抜いてから行います。おがくずが、目に入らないように気を付けましょう。



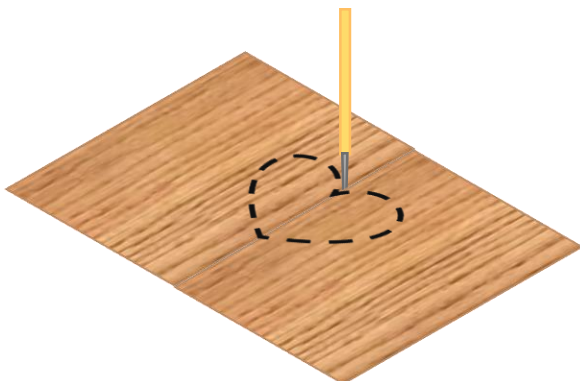
糸鋸の正面に立ち、しっかり板を押さえましょう



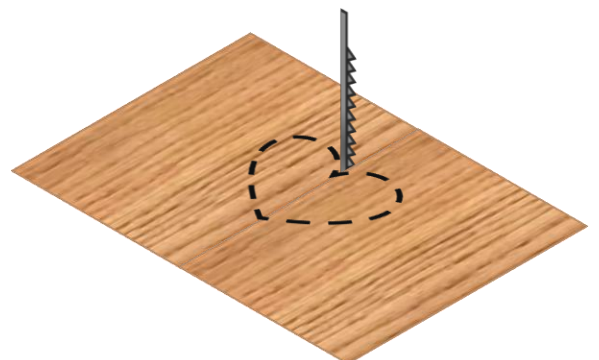
刃の前に手を出さないようにしましょう



くり抜きたい時は最初にキリで穴をあける



糸鋸の下ねじは固定のまま、あけた穴に刃を通し、上のねじ取り付けてから切る





『ロックミシン』でどんなミシン？



- ① 生地の手端をかがり縫いにしたり、ニット素材など伸縮性の強い生地の縫い合わせに特化したミシンです。伸縮性を求める縫い方になりますので、ポケットや装飾を縫い合わせるものではなく、Tシャツやトレーナーなどの縫い目をきれいに仕上げたい場合に活躍します。
- ② 普通の直線縫いやステッチはできません。
- ③ 当施設に設置しているロックミシンは、1本針・3本糸でのものになります。

【ロックミシンでできること】

- ① 布の裁ち端処理ができます。(布の手端の処理で、糸のギザギザの部分のこと)
- ② ハサミで裁断した部分のほつれを防止する。
- ③ 巻きロックで、特に薄い生地の裁ち端処理を行い、装飾的な風合いを出すことができます。スカート端のフリルや、シュシュの手端も美しく仕上げることができます。

	ロックミシン	家庭用ミシン
下糸	なし(ルーパー)	あり
素材	薄地から厚地までOK	素材を選ぶ必要あり
縫い方	基本かがり縫いだけ	直線、ジグザグなど選べる
縫う場所	布端のみ	布の中央でも端でもOK
方向転換	方向転換NG	自由自在

【注意点】

- ① ミシンおよびコントローラーに水や薬品がかからないようにしましょう。
- ② 電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ③ ミシン本体の換気穴をふさがないようにしましょう。
- ④ 針の太さに気を付けましょう。薄地用、普通地用は11番手、厚地用は14番手の針となります。
- ⑤ 針は長期間使用すると先が摩耗します。目とびの原因になりますので、摩耗や曲がりがないか、平らなところでチェックしましょう。
- ⑥ 糸をかける順番を間違えないようにしましょう。
 - 1、上ルーパー(右から2番目)
 - 2、下ルーパー(一番右の糸)
 - 3、針糸

※詳細は、ロックミシン『ご使用のてびき』をご参照ください。